

# いち・にの・さんじん



日本医療機能評価機構  
認定病院

原三信病院 広報誌

July 2012 No.40

病人のための病院

病院理念



作品:「鍋ヶ滝」(阿蘇郡小国町) 写真部 井上文江

## 病院基本方針

- 一、質の高い医療の追求
- 一、居心地の良い環境の提供
- 一、心のもったサービスの実践

## 目次

- 病院にゆ〜す「新しいドクターの紹介」…………… 2
- 医学雑学講座「クモ膜下出血」…………… 3
- THEプロフェッショナル「糖尿病療法指導士」…………… 4
- 検査紹介コーナー「呼吸リハビリテーション」…………… 5
- 香椎原病院だより・食のヒミツ…………… 6
- 呉服町腎クリニックからのお知らせ…………… 7
- 病院及び関連施設のご案内…………… 8





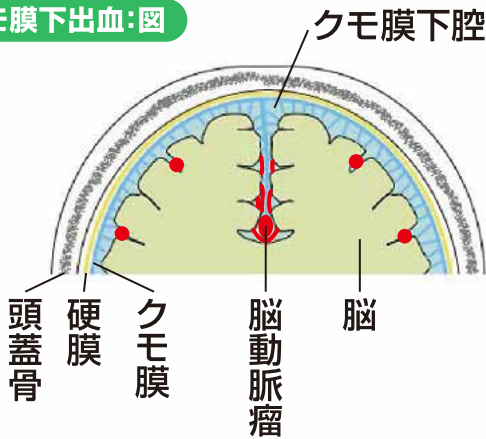
# 医学雑学講座

## クモ膜下出血

平成24年4月より、原三信病院の脳神経外科に常勤医2名が赴任いたしました。そこで今回から数回に分けて、脳神経外科の代表的な疾患をご紹介します。

今回はクモ膜下出血についてご説明します。クモ膜とは、脳を覆ううすい膜の一つで、見かけがクモの巣に良く似ていることから、その名前が付けられました。脳に栄養を送り届けている大きな動脈は、このクモ膜と脳の間を通っています。クモ膜下出血の90%は、脳の大きな動脈に動脈瘤という膨らみができ、これがある日突然破裂することで発症します。クモ膜の内側(クモ膜下腔)、脳とクモ膜の間に出血が広がった状態が、クモ膜下出血なのです。

クモ膜下出血:図



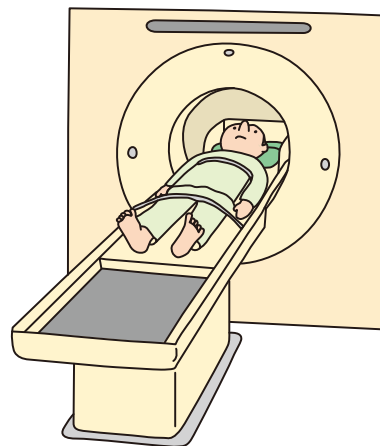
クモ膜下出血は年間で1万人あたり1~2人しか発症しない病気ですが、その名前は非常に有名です。その理由は、クモ膜下出血は一度発症すると約40%の方が亡くなり、生存しても約半数の患者様に後遺症が残ってしまう恐ろしい病気だからです。

クモ膜下出血の症状は、ある日突然激しい頭痛が出現し、吐いたり、意識を失ったりします。もしクモ膜下出血を発症し、そのまま破裂した動脈瘤からの出血が続けば、その方はすぐに意識を失い、呼吸が停

止し、即死状態になってしまいます。幸い出血が一時的に止まり、本人または周囲の方が異変に気付いて病院を受診し、クモ膜下出血と診断された場合も、動脈瘤の破裂部位が血液の固まりなどで一時的に止まっているだけで、すぐに再破裂を起こし、状態が悪化する危険性があります。



もし上記のようなクモ膜下出血を疑う症状がある場合は、すぐに病院へ行き、CTスキャンやMRIの検査を受ける必要があります。その結果、クモ膜下出血と診断された場合は、出血の原因となるような動脈瘤や血管異常を発見するように検査を追加する必要があります。原因が見つかれば、できるだけすみやかに、再度の出血を防ぐために手術を行なうようにしてください。再破裂を予防することが、クモ膜下出血という恐ろしい病気から生還するために重要となります。



脳神経外科 部長 庄野 禎久



# 病 院 に ゆ ～ す

最近の  
原三信病院の  
動き

## 新しいドクターの紹介

平成24年度4月に原三信病院に新たに23名の医師が赴任しましたので、ご紹介させていただきます。院内で見かけた際は、どうぞお気軽に声をおかけください。



消化器科

のぐちけんいち  
**野口 賢一**

出身校:平成5年 熊本大学卒



消化器科

にしじまけんいち  
**西嶋 健一**

出身校:平成20年 九州大学卒



消化器科

なかの かよこ  
**中野 佳余子**

出身校:平成22年 熊本大学卒



循環器科

ふじいかな  
**藤井 香奈**

出身校:平成21年 九州大学卒



循環器科

いよなが たけし  
**彌永 武史**

出身校:平成18年 福岡大学卒



呼吸器科

たかき よういち  
**高木 陽一**

出身校:昭和63年 自治医科大学卒



総合診療科

くまで えり  
**熊手 絵璃**

出身校:平成21年 九州大学卒



総合診療科

やまさき しょう  
**山崎 奨**

出身校:平成22年 宮崎大学卒



腎臓内科

さわ みき  
**澤 未来**

出身校:平成22年 福岡大学卒



放射線科

たかお みえ  
**高尾 実愛**

出身校:平成16年 九州大学卒



放射線科

いとう けんぞう  
**伊藤 賢三**

出身校:平成19年 山口大学卒



整形外科

ごとう のりお  
**後藤 徳雄**

出身校:平成19年 長崎大学卒



泌尿器科

みよし くにかず  
**三好 邦和**

出身校:平成14年 大阪医科大学卒



泌尿器科

あきたけ なおこ  
**秋武 奈穂子**

出身校:平成16年 香川医科大学卒



泌尿器科

しもいなば みさ  
**下稲葉 美佐**

出身校:平成20年 藤田保健衛生大学卒



泌尿器科

おしかわ よしひさ  
**押川 英央**

出身校:平成20年 琉球大学卒



脳神経外科

しょうの ただひさ  
**庄野 禎久**

出身校:平成3年 九州大学卒



脳神経外科

かめだ かつはる  
**亀田 勝治**

出身校:平成15年 宮崎医科大学卒



外科

とうま ひろき  
**当間 宏樹**

出身校:平成2年 九州大学卒



外科

とよだ しゅういち  
**豊田 秀一**

出身校:平成11年 東北大学卒



外科

ちぢいわ よしろう  
**千々岩 芳朗**

出身校:平成19年 長崎大学卒



研修医

しみず だいき  
**清水 大樹**

出身校:平成20年 久留米大学卒



研修医

きゅうらぎ ゆうすけ  
**久良木 悠介**

出身校:平成24年 九州大学卒





## 糖尿病療養指導士 ～内科外来での役割～

### 糖尿病療養指導士とは

糖尿病療養指導士(LCDE)とは、糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を有し、医師の指示の下で患者様に熟練した療養指導を行なうことのできる医療従事者のことです。福岡市では、糖尿病療法指導士の発足に向けて平成10年に福岡糖尿病療法指導士設定会が設立され、福岡糖尿病療法指導士認定制度ができました。福岡糖尿病療法指導士になるためには、以下の全ての項目を満たしていることが必要です。

- 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士、歯科衛生士、臨床心理士などの医療職としての経験が3年以上ある者。
- 糖尿病患者教育者としての経験が1年以上ある者。
- 日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本糖尿病教育看護学会のいずれかの会員である者。
- 糖尿病関連講演会等の単位取得が、過去3年間で10単位以上ある者。

現在、当院の外来には、4名の糖尿病療養指導士の資格をもった看護師がいます。また、昨年より取得を始めた看護師もいます。

### 糖尿病外来での役割・フットケア外来について

平成23年4月より糖尿病外来の環境(1階→7階)を変え、新しい診療体制を取ることになり、4名の糖尿病療養指導士の看護師を固定化して、患者様への対応をすることになりました。これまでできなかった足病変などの資料・アセスメント\*1、カンファレンスシート\*2などを作成し、継続した看護・患者様指導にあたっています。

また、平成22年12月に当院の糖尿病治療中の

外来患者様へ、フットケアに関するアンケート調査を行ないました。その結果、半数以上から「フットケアを希望する」という回答が得られまし



た。そして、希望しない方々の半数がフットケアの意味を理解されていなかったということもわかりました。病変のリスクが高い人ほど足が気になるにもかかわらず、相談相手がいないという結果も。そこで、平成24年4月より下肢のスクリーニング\*3を開始し、その結果を得て、循環器科山本先生を中心に糖尿病科牧先生、皮膚・排泄ケア認定看護師、LCDEの看護師で【フットケア外来】を開設いたしました。(診察日は木曜日の午後・完全予約制)

フットケア外来は、担当される循環器科山本先生の後押しがありスタートいたしました。先生の生涯の目的“足を守る”の一旦を担い、糖尿病患者様を始め、当院で出会った方々の足がQOL(生活の質)の維持向上へ向かうよう努めていきたいと思えます。

※1アセスメント:患者様を把握するために必要な情報を集め、それらの情報の意味を考えること。

※2カンファレンス:話し合いにより、よりの確な方針を出す場。(カンファレンスシート:その場を使用するための情報記載と記録)

※3スクリーニング:治療が必要かどうかを判断すること。



看護部 内科外来  
主任 平山 勝代



# 検査紹介コーナー

## 呼吸リハビリテーション

### 治療目的

呼吸リハビリテーションは、呼吸障害の予防・治療のために行なうもので、大きく大別して2つに分けられます。

- 急性呼吸障害の予防と治療: 肺機能を健常時の状態に戻していきます。
- 慢性呼吸障害の予防と治療: 残存肺機能の維持、能力の最大限の発揮を目指します。

### 対象疾患

肺炎、無気肺、胸部外傷、肺梗塞、肺移植後、COPD<sup>\*</sup>、胸部悪性腫瘍の術後  
気管支喘息・拡張症、神経筋疾患での呼吸不全、人工呼吸管理下の患者様など

※COPD:【慢性閉塞性肺疾患】気道の慢性的な閉塞により、肺への空気の  
流れが悪くなる病気の総称です。

COPDは大きく分けて、肺気腫と慢性気管支炎の2つに分類されます。

### 治療方法

たいいはいたんほう

#### 1 体位排痰法

痰のある肺を最も高い位置において、重力を利用して痰の移動を促す方法。どこに痰がたまっているかによって判断します。



■ 図1: 体位排痰法による呼吸介助

#### 2 呼吸介助(図1)

吐く息に合わせて、患者様の胸郭を両手を用いて圧迫します。しっかり吐くことが、そのあと深く息を吸うことにつながります。仰向け・横向き・うつ伏せなどの姿勢で行ないます。胸部の柔軟性の改善、肺の循環を良くし換気を促す、痰を出しやすくするなどの効果があります。



■ 図2: 胸郭の動きをよくする運動

#### 3 胸郭の動きをよくする運動(図2)

呼吸筋のストレッチ、関節の動きをよくするモビライゼーション<sup>\*</sup>。

※モビライゼーション: 関節の調整

#### 4 運動療法(図3)

全身持久力トレーニング(心肺機能・持久力の改善)

骨格筋トレーニング(強くしたい筋肉を鍛えます)



■ 図3: 歩行訓練

### 注意事項

- 患者様の呼吸および改善動作が目的です。最善の注意を行なっていますが、痛み、痺れなどがある場合はすぐにお知らせください。
- 過度の療法は悪影響を及ぼす場合がありますので、スケジュールに沿って一緒にリハビリ訓練を行ないましょう。

※検査に際してご不明な点がございましたら、  
お気軽に医療スタッフにお尋ねください。

診療技術部 リハビリテーション科  
科長 烏山 邦敏





## 体力向上支援センターについて

**体**力向上支援センターは、開設8年目を迎えます。「シニア・シルバー世代」の方々が自立した生活を続けられるよう、予防の観点より、地域の健康づくり・介護予防に取り組んでいます。参加人数も増加傾向で、「地域のパワーと健康への強い思い」を

感じる毎日です！

また、老化や病後の低下による「生活体力の改善・健康維持と意欲の向上」には、運動内容のみならず、センター内での同世代同士の出会いや自然なコミュニケーションも大切です。3年目となる「自宅でエクササイズ（訪問型の運動指導）」は、シニア世代の閉じこもりの防止と社会参加に繋がっています。ノルディック・ウォークやガーデニングを兼ねた活動などコンパクトかつ多彩な内容で、これからも地域全体の元気をスタッフ全員で後押ししていきます！



■ 体力向上支援センターフロアの様子



■ 自宅でエクササイズ屋外活動の様子

体力向上支援センター 科長 畑中 慎太郎



## 食のヒミツ!

### 脱! 貧血

**女**性の約半分は、貧血または貧血予備軍といわれ、その大部分は鉄分不足が原因です。貧血に効く食べ物といえばレバーやほうれん草のイメージがありますが、普段の食事を工夫するだけでも予防や改善につながります。

#### ① 動物性のたんぱく質を食べる

肉や魚に含まれる鉄分は、野菜に比べると吸収されやすい鉄分です。

#### ② 食べ方や料理を工夫する

野菜や穀類の鉄分は、動物性食品やビタミンCを多く含む食品(果物・芋など)と一緒に食べると吸収力がアップします。(例: クリームシチュー、青菜の卵とじ、肉と野菜の炒め物など)

#### ③ 刺激物も強い味方

酢や柑橘類の酸味や香辛料は胃酸の分泌を高め、鉄分の吸収力をアップさせます。

#### ④ 偏食は禁物

いろいろな栄養(たんぱく質・ビタミンB6・ビタミンB12・銅など)が血液をつくる助けをしています。できるだけ多くの食材を摂るようにしましょう。

#### ⑤ 食事はよく噛んでゆっくりと

よく噛んでゆっくり食べることで胃酸の分泌が促進され、鉄分の吸収力がアップします。



栄養科 科長 石崎 律子





# 呉服町腎クリニックからのお知らせ

## 糖尿病・足病変の管理班&ドライウエイトを見直すことの重要性②

### 糖尿病・足病変の管理班

糖尿病・足病変の管理班(糖尿病・フットケアチーム)は、透析患者様に合併する糖尿病管理(血糖値、合併症の予防と治療)、透析患者様と糖尿病患者様に多い足病変の



■感覚神経の診察(松本)

早期発見、早期治療のための診療活動を行っております。原三信病院の医師、スタッフと協力したチーム医療が中心です。各科との連携は腎クリニックの科長・田原、足病変評価の専門研修を受講した



■足の動脈の診察(武内)

主任・津村、岩崎看護師を含めて行っております。定期的に同一の観察を行なうことが重要ですので、患者様も診察にご協力いただきましたら幸いです。



### ドライウエイトを見直すことの重要性②

ドライウエイトの設定の注意点については、以下をご参照ください。

①ドライウエイトの設定は、少しずつ調節をしながら決定していきます。また、実際に血压が下がってくるのに、一定の時間がかかることがあります(1~2ヶ月以上必要なこともあります)。すぐに効果が出にくい時は、ドライウエイトの調節を継続した方が良い場合があります。

②ドライウエイトは繰り返し見直しが必要です。加齢、食欲の変化、入院、手術後の体重減少などにより筋肉量、脂肪量が変化するため、ドライウエイトの減量が必要な場合があります。少し血压が上がった時にこまめに調節を行わないと、血压が下がりにくくなる、心肥大・心不全が生じてくる、脳動脈、冠動脈、足の動脈の動脈硬化が起こりやすくなるなどの問題が生じます。

③血压の薬の調節も同時に行ないます。適切なドライウエイトの設定によって、血压が下がるので血压の薬を減らします。また、透析のある日は透析中の血压低下で除水が不十分になる可能性があるため、内服を中止する場合があります。腎臓病(腎不全)の場合、血压の薬の効果が24時間以上持続することがしばしばあります。

### 編集後記

連日厳しい暑さが続いています。今夏も昨年に引き続き、電力不足による節電が要請されております。熱中症には十分お気を付けください。

今回の医学雑学講座では、脳神経外科を取り上げました。脳神経外科は普段私たちがよく耳にする重篤な疾患が数多くありますが、専門性が高く、内容を理解するのがとても難しい分野です。そのような分野も皆様に“わかりやすく”お伝えたく、テーマとして取り上げました。今年も広報誌を通して様々な情報を発信していきたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

広報・連携委員会 委員長 原 直彦

# 病院及び関連施設のご案内



## 原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8  
 ☎092-291-3434 FAX092-291-3424  
 URL <http://www.harasanshin.or.jp>  
 ☒ info@harasanshin.or.jp



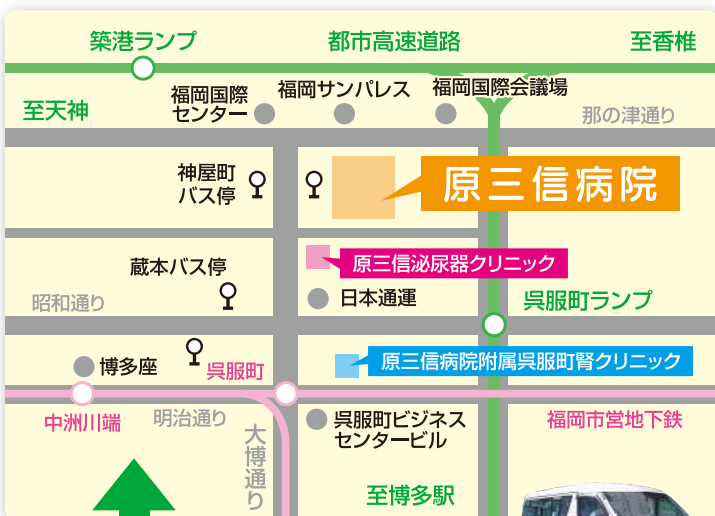
### ● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00・14:00～17:00 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

### ● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・外科・血液内科・腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科・放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・睡眠呼吸障害センター・健康管理センター



## 原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒813-0011 福岡市博多区中呉服町1-25  
 ☎092-262-2828  
 FAX092-262-2853  
 ☒ gofukumachi@harasanshin.or.jp

- 診療時間 水曜日 14:00～17:00
- 診療科目 内科・人工透析

## 原三信泌尿器クリニック



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13  
 双和ビル2F(双和薬局上)  
 ☎092-283-5121  
 FAX092-283-5131

- 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
- 診療科目 泌尿器科

### シャトルバス運行しています

	香椎原病院発	千早駅発	原三信病院着	原三信病院発	千早駅発	香椎原病院着
午前	9:30	-	10:00	10:10	10:35	10:40
	11:40	11:50	12:10	12:20	12:45	12:50
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:45	15:00
	15:50	16:00	16:20	16:30	-	17:00

運休日: 日曜・祝日・年末年始 ※時刻・路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。



## 香椎原病院



〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1  
 ☎092-662-1333 FAX092-662-1330  
 URL <http://www.kashiihara.or.jp/>

- 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
- 診療科目 内科・リハビリテーション科

病院理念 **手の暖かさの伝わる病院**